

desknet's NEO

グループウェア デスクネッツ ネオ

ユーザー事例集 vol.6

desknet's NEO って、本当に使いやすいの？
他の会社はどんな活用してるの？

お客様の声
集めました。

ヴァイオリニスト
松尾依里佳が
ユーザーを訪問！

「使われないシステムをなくしたい。」そう考え、
グループウェアをめざしたデスクネット ネオ。

P.03

01 東横化学株式会社

目的・効果 他社製品からの乗り換え メール・電話の削減



製造

430
ユーザー



クラウド版

ウェブメール

スケジュール

設備予約

文書管理

インフォメーション

AppSuite

P.05

02 濱田酒造株式会社

目的・効果 営業力強化・売上向上



製造

255
ユーザー



パッケージ版

回覧・レポート

設備予約

アンケート

スケジュール

AppSuite

ポータル

P.07

03 リフォームスタジオ株式会社

目的・効果 営業力強化・売上向上



サービス

820
ユーザー



クラウド版

インフォメーション

ワークフロー

設備予約

文書管理

回覧・レポート

アンケート

スケジュール

ポータル

P.09

04 株式会社NHS

目的・効果 メール・電話の削減



サービス

250
ユーザー



クラウド版

スケジュール

ワークフロー

インフォメーション

設備予約

P.11

05 SHIROYAMA HOTEL kagoshima 城山観光株式会社

目的・効果 他社製品からの乗り換え 顧客満足向上



サービス

400
ユーザー



パッケージ版

インフォメーション

スケジュール

ウェブメール

回覧・レポート

議事録

ワークフロー

ネオツイ

文書管理

AppSuite



みんながもっと“使いたくなる”
たくさんのお客様のお悩みを解決しています。

株式会社イワサ・アンド・エムズ

06 P.13

115 ユーザー
クラウド版
建築・不動産

目的・効果 **残業削減**

- ポータル
- アンケート
- ネオツイ
- 閲覧・レポート
- 電子会議室
- 設備予約
- スケジュール
- AppSuite

株式会社イトー急行 (ニッコンホールディングスグループ)

07 P.15

180 ユーザー
パッケージ版
交通運輸

目的・効果 **他社製品からの乗り換え** **メール・電話の削減**

- スケジュール
- ウェブメール
- 閲覧・レポート
- インフォメーション
- 設備予約
- アンケート
- 文書管理

ふくおか電子自治体共同運営協議会

08 P.17

4,410 ユーザー
クラウド版
官公庁

目的・効果 **コスト削減**

- インフォメーション
- スケジュール
- ウェブメール
- 設備予約
- 閲覧・レポート
- アンケート
- ネオツイ: **ダイレクトメッセージ**

島根県大田市役所

09 P.19

750 ユーザー
パッケージ版
官公庁

目的・効果 **顧客満足向上**

- インフォメーション
- スケジュール
- 設備予約
- 閲覧・レポート
- ネオツイ: **ダイレクトメッセージ**
- ネオツイ: **つぶやき**
- ウェブメール
- ポータル
- AppSuite

株式会社城山

10 P.21

200 ユーザー
パッケージ版
情報・通信

目的・効果 **ナレッジ共有・属人化防止**

- スケジュール
- 閲覧・レポート
- 電子会議室
- 設備予約
- インフォメーション
- 文書管理
- ワークフロー

01

desknet's NEO
導入事例



製造

東横化学株式会社

産業用ガスの供給・関連機器製造・設備提供

430
ユーザー



クラウド版

導入時期	2018年	従業員数	360名	設立	1952年6月	所在地	神奈川県川崎市
事業内容	各種高圧ガスの販売及びプラント建設／半導体製造用各種装置の開発・設計・製造・販売等。産業用ガスの製造と安全供給、制御技術に応用した設備調達と運用管理、除害・リサイクル、防災・環境対策などのトータルガスマネジメント (TGM) を手がけるガスの総合エンジニアリング商社。国内19、海外5事業所を展開。						
URL	https://www.toyokokagaku.co.jp/						

目的・効果

他社製品からの乗り換え

メール・電話の削減

メール中心だった旧製品をリプレース。複数機能連携で目的・課題に適した情報共有へ

この事例のポイント

- 1 社員に不評だった製品をリプレース。情報共有環境の刷新をめざす。
- 2 使用感、インターフェースが社内で高評価だったdesknet's NEOを採用。
- 3 複数機能の連携活用で目的・課題に適した社内情報共有を実現。

ご利用中の機能と使い方



ウェブメール

メールを積極利用する社内文化の影響で利用浸透は早かった。[ウェブメール]の活用がdesknet's NEOに必ずログインする習慣につながり、導入初期の利用定着に役立った。



15 スケジュール

個人・部署・全社のスケジュール共有に活用。メール～スケジュール～設備予約などの連携活用が短期間で定着。タイムゾーン設定で海外拠点の行動予定や所在確認にも活用。「予定を必ず入力する」習慣が利用効果や運用効率につながるが社内意識として浸透。



設備予約

設備、備品、社用車の予約管理に活用。本社の会議室・応接室15室、車両20台以上の運用効率向上に貢献。自社技術や新製品を紹介する本社ショールームの予約管理にも活用。パーティションで広さ・利用人数を変える大会議室のフレキシブルな運用もしやすくなった。



文書管理

全社、部署、プロジェクトチームなど組織・種目別に開示するファイルを共有。各部フォルダはアクセス権設定で管理。[インフォメーション][ウェブメール]との併用で、何でもメールに添付していた旧製品時代の習慣はなくなった。



インフォメーション

社内向けの案内や情報を一日3～8件ほど配信。総務から全社向けの告知が多く、各種通達確認や[文書管理]へのリンクで文書閲覧・共有にも活用。EDI取引で受注業務を行う複数部門では、アクセス権設定で該当部署だけに受注状況を通知。受注後の迅速・確実な対応が可能になった。



AppSuite

desknet's NEOとの連携やコストパフォーマンスを評価し採用。業務知識マニュアルなど旧製品で作成した情報資産、各種報告書類等を段階的に移行予定。[ワークフロー]の連携活用やペーパーレス化の推進など、本格的な活用に向け利用範囲の拡充をめざしている。

ご利用中のお客様の声

社員に不評だった製品をリプレース。情報共有環境の刷新をめざす。

— グループウェアリプレースの背景についてお聞かせください。

17年利用継続していた代表的なクライアントサーバー製品がありました。社内では「わかりにくい」「操作性が直感的じゃない」と使用感への不満や指摘が多く、インターフェースも古めかしいまま。各種機能の連携活用も進みませんでした。予定調整、設備予約、資料やデータもすべて「メールで共有」する習慣が定着してしまい、情報の重要性や優先順位もわかりにくくなっていましたので、グループウェアの乗り換えを決定しました。

使用感、インターフェースが社内で高評価だったdesknet's NEOを採用。

— 製品採用の決め手となったのはどのような点でしたか。

技術資料や画像共有なら文書管理。回覧・共有する文書ならインフォメーションで告知して別機能で共有・閲覧と、情報の種別や目的に合わせて複数機能を連携活用し、効果的な情報共有を実現したかったのです。

desknet's NEOは、使用感やインターフェースの社内評価が最も高く、「わかりやすく直感的な操作感」「マニュアル不要の使いやすさ」「海外拠点でもブラウザにログインすれば全機能が活用できる」などの意見に加え、スマートフォンやチャット機能の活用にも注目しました。

海外拠点や出張時の利便性、自然災害対応やBCP対策も想定して、従来のオンラインプレミスをやめ、クラウド版のdesknet's NEOを採用しました。

さらにユーザー要望に応え、ChatLuckと旧データベースを移行活用するために、desknet's NEOと連携活用できるAppSuiteもあわせて導入。コストパフォーマンスを高めながら、蓄積された情報資産を活かす方針をとりました。

複数機能の連携活用で目的・課題に適した社内情報共有を実現。

— 導入後、メール集中の課題は改善できましたか。

メールに集中していたそれまでの利用傾向を活かし、最初に[ウェブメール]の活用を勧めました。そこからdesknet's NEOに全ユーザーがログインする習慣につながり、早めの定着を実現しました。

AppSuiteの連携活用も実現。業務目標に取り組み、課題を解決するための情報基盤として発展中です。



次に取り組んだのが[スケジュール]で、「全社員が入力する」という前提条件が整い、予定管理の信頼度が社内意識として定着したことで、個人・部署・全社の予定共有が実現できました。メールだけでは不便だった海外出張中の行動予定や所在確認にタイムゾーン設定も活用できるようになり、利便性を実感しています。[インフォメーション]は毎日の全社通達のほか、EDI取引に関わる各部門をアクセス権設定で振り分け、受注ごとに該当部署専用[インフォメーション]に表示して、迅速な受注状況の把握と、確実な対応につなげています。

—— 情報資産を活かすAppSuiteのご活用状況はいかがですか。

最初に旧グループウェア上の「業界専門知識のマニュアル」類を移行しました。長年時間をかけブラッシュアップしてきた情報資産が最新の環境でさらに使いやすくなったのは画期的で、現在も更新を重ねています。

その他、現場作業の特記事項を記録する各種報告書、業務改善アンケートなども実用化しています。給食弁当の予約表を試作後、総務の女性担当者が自ら手を加えバージョンアップさせるなど、社内でプログラムをカスタマイズする好事例も生まれ、導入早々に営業部門から見積もり管理や採番管理の複雑な作業をAppSuiteで実行したいという要望も上がりました。導入当初

より発展の可能性を感じさせてくれましたね。

—— 導入から現在までの活用効果や手応えはいかがでしょう。

desknet's NEOの導入で、従来の各種定型業務をクラウド上のトータルなシステムとして発展できる情報基盤を得たことは大きな成果です。メール偏重から、その先にある、「業務で実現したいこと」に取り組み、「課題を解決する」ための基盤として進化しています。

各種機能連携で情報共有の相乗効果が得られ、速さ・正確さ・効果が上がることをユーザー自身が意識し、自主的な活用につながる理想的な発展をとげています。

取締役 / 管理本部
本部長 / 総務部 部長



神田 巻男 様

企画室リーダー /
管理本部 経理部
基幹システムチーム リーダー



郷原 正 様

管理本部 経理部
基幹システムチーム
マネージャー



水谷 道生 様

02

desknet's NEO
導入事例



製造

濱田酒造株式会社

焼酎製造・酒造業

255
ユーザー



パッケージ版

導入時期	2014年	従業員数	303名	設立	1951年 創業1868(明治元)年	所在地	鹿児島県いちき串木野市
事業内容	焼酎製造。創業時の伝統的製法を守る「伝兵衛蔵」、FSSC22000認証取得の最新鋭設備で本格焼酎を製造する「傳藏院蔵」、旧串木野金山の坑洞を活かし薩摩焼酎の歴史の継承、貯蔵・長期熟成を行う「薩摩金山蔵」の三つの蔵にて、本格焼酎、リキュール等を製造している。全国8支所・営業所を展開。						
URL	https://www.hamadasyuzou.co.jp/						

目的・効果

営業力強化・売り上げ向上

全社員が売り上げ実績を共有。本格焼酎の品質向上や商品開発に貢献

この事例の ポイント

- 1 事業成長と共に情報共有・連携の課題が浮上。新たなグループウェアの導入へ。
- 2 使いやすさとメンテナンス性、コストパフォーマンスが採用の決め手。
- 3 全社員が事業収益を意識。品質向上に直結する、あらゆる情報を共有。

ご利用中の機能と使い方

回覧・レポート

会議の事前資料や部内のファイル共有に社内メールとして活用。メール中心の利用習慣の改善に貢献。毎月1日の管理会計の実績をExcelで共有。生産現場で開催する焼酎の公開講座、お酒のテイastingや料理とのペアリングなどを商品開発やセールスに活かす定期開催の勉強会「テイasting研究会」の開催要項、募集などに活用。

設備予約

会議室、備品類の管理に[スケジュール]と連携して活用。以前のExcel管理より運用効率が上がった。記録用の撮影機材など製造現場の利用度が高く、備品管理項目の追加要望が積極的に上がっている。

アンケート

各種業務、イベント、催事の意見収集に活用。[インフォメーション][回覧・レポート]等とともにログイン後見やすい場所にレイアウトしている。

15 スケジュール

本社、三つの蔵、全国7支店1営業所のスケジュールに活用。離れた事業所間の予定・所在確認、会議・打ち合わせの調整がしやすくなり、社員間の予定管理が効率化された。

AppSuite

本格焼酎の製造現場で収集・蓄積された諸データの帳票類の電子データ化と一括管理を実現。商品開発や品質向上に役立てていく方針。さらに商品開発時の複数項目を管理する企画・提案書などの帳票類を移行。共同編集を可能にし、商品開発記録の共有とデータベース化に着手。

ポータル

desknet's NEOの各種機能に加え、原価管理、在庫管理、勤怠管理、営業支援などの業務システムのリンクをメニューに設定。複数機能をシングルサインオンでシームレスに活用。

ご利用中のお客様の声

事業成長と共に情報共有・連携の課題が浮上。 新たなグループウェアの導入へ。

— desknet's NEO導入以前の情報共有状況はどのようなものでしたか。
新たな蔵の開業や出荷量の急伸、全国への営業展開など、事業の急成長や組織の拡大とともに、情報共有の課題が浮上しました。メール中心でお互いが「見えにくく」、部門間で情報の分断が生じつつあったのです。例えば「支店の業務に集中していて、全社的情報や会社方針が伝わらない」「所属部署以外の他部署の動向がよくわからない」といったことです。社員相互の動きが見えれば、情報連携が効果的になる。全社の動きや各部門の取り組みを意識しながら仕事ができるようグループウェアを導入することにしました。

使いやすさとメンテナンス性、 コストパフォーマンスが採用の決め手。

— 製品選定、導入の決め手となったのは何ですか。
一部試験導入の結果、実際に利用した社員の評価も高く、ユーザー視点で見たときに各機能がわかりやすく直感的な操作が可能だったことです。さら

に、競合製品との比較でもコストパフォーマンスに優れていました。鹿児島県内の企業や同じ酒造メーカーなどへの導入実績、事例紹介もあり、その活用手法も参考になりました。運用・提供側からは、ユーザー管理が管理者側で一括設定できるメンテナンス性を評価しました。以前はPCのキッティングを自社で行い支店に提供していたので、管理運用面での負荷軽減の効果も期待できました。

全社員が事業収益を意識。 品質向上に直結する、あらゆる情報を共有。

— 課題だった部署間の動きは見えるようになりましたか。
ポータルの見やすい位置に[インフォメーション][回覧・レポート]などの機能をレイアウトして重要情報に必ず目を通し、本社の発信や会社全体の動きを意識しながら情報を活用する習慣が浸透しました。以前は営業と商品開発との接点はあっても、生産現場と交流・情報共有することが、あまりありませんでした。焼酎造りに励む生産現場とマーケットを肌感覚で知る営業現場の情報共有の場が整った意義は大きく、手応えを実感しました。

経営の根幹や顧客満足、高品質な商品開発に直結する重要情報を集約する場として活用を広げています。



—— 業務上、特に重要となった機能活用の手法はありますか。

組織が成長した2016年より管理会計を導入し、各部署独立採算制で月初に経費と売り上げ等の予定を各部門のリーダーが立て、月末実績を翌月1日に [インフォメーション][回覧レポート] で共有しています。予定と実績が大きく乖離した場合は、その要因を究明でき、各部門で月の予算と売り上げを明確に意識できるようになりました。目的は部署間の競争ではなく、経営的な側面から自分の部署と会社全体の状況を把握し、いかに生産性を高められるかを考えていくものです。根底には、公平公正な視点で経営を捉えるフィロソフィーの共有があり、「社員が会社の経営状況を知り、自身の業務がそこに反映されるように意識する」=「ガラス張りの経営」を推進しています。ですから [インフォメーション] では、一般企業の役員レベルが見えるような会計資料も全社員に公開しています。

—— 焼酎の品質管理にAppSuiteの利用を開始したそうですね。

ウェブデータベースへの期待、desknet's NEOとの親和性やコストの優位性からAppSuiteを採用しました。

生産現場には生産管理システムに入力しきれない、製造担当者が現場で

記録した有益な情報が多く、従来Excelで管理していました。それらをデータベース化して、品質向上に役立てていく方針です。

—— 活用を通して得られた手応え、効果とはどのようなものですか。

本社や部署間、企業全体の動きをみんなで把握するという当初の課題は、すぐに達成できました。今後は各部門の取り組みや課題を解決する活用手法をユーザーのアイデアと共に展開したいですね。管理会計の実績共有やAppSuiteによる製造現場のデータ収集・管理など、経営の根幹や商品開発、品質向上に直結する、重要な情報が集約される場としても進化しているので、本格焼酎の製造という事業をさらに発展させるためにもdesknet's NEOを役立てていこうと思います。

経営管理部長



村山 聡 様

経営管理部
情報システム課 係長



四元 宏 様

経営管理部
情報システム課 主任



後藤 浩一 様

03

desknet's NEO
導入事例



リフォームスタジオ株式会社

サービス

ファッションリフォーム、靴・カバン修理のFC店舗運営

820
ユーザー



クラウド版

導入時期	2014年	設立	1986年2月	所在地	東京都中央区
事業内容	アパレルのファッションリフォームサービス、靴修理などのFC店舗運営。洋服のお直し「マジックミシン」、靴・カバンの修理、クリーニングの「リアット!」を全国に展開。その他レンタル収納スペースを運営。AEONグループの一員として系列ショッピングモールの婦人・紳士服のお直しも手がけている。				
URL	https://www.reform-s.com				

目的・効果

営業力強化・売り上げ向上

FC店舗の潜在力を引き出し、地域密着型ブランドの価値を高める

この事例の ポイント

- 1 タブレットでFC店舗を支援。現場力を高める情報共有をめざして。
- 2 実現したい活用法や課題解決に、豊富な機能で応えてくれるdesknet's NEOを採用。
- 3 店舗・スーパーバイザー・本部連携で営業力を強化。地域密着のブランド力を醸成。

ご利用中の機能と使い方



インフォメーション

本部からFC全店へのお知らせなど返信不要な情報発信に活用。販促やキャンペーンに関する写真・図版など大容量ファイルの配付共有には、課題の多かったメール添付を止め[インフォメーション]の告知と添付で共有するよう推奨している。



ワークフロー

経営幹部の要請に応え紙ベースから移行。申請書類の滞留がなくなり決裁が迅速化。本部は決裁伺い書や労務関係の汎用フォーマットを数種用意して活用。FC700店舗の資材発注をFAXから移行し、発注業務の省力化・店舗業務の負荷軽減に成功。



設備予約

本部会議室、プロジェクターの予約管理に利用。



文書管理

メール自動取込機能の活用で、POSサーバーと連携した売上速報の一斉配信に成功。マニュアル、売上データ、定型文書(申請書等)やページ数の多い独自編集の靴修理技術書の最新版を共有・活用。FC全店に配付していた社内報もPDF化して共有。印刷配送コスト削減とペーパーレス化を実現。



回覧・レポート

閲覧状況の確認が必要な本部・経理からの通達など業務上重要な連絡に活用。SVが店舗巡回時に記録する巡回報告書を共有。店舗の気づき・意見・提言や相談内容を記録し本部で共有。回答をまとめて店舗に必ずフィードバックすることで信頼感の醸成にも役立っている。



アンケート

店舗の意見や意識調査等に活用。集計もしやすく、FAXの時代では考えられなかった迅速な意見集約・分析に成功。



15 スケジュール

全社員の予定を公開。勤務状況によって休暇日が異なる、変形労働時間制においても瞬時に相互の予定確認が可能。打ち合わせ等の調整がしやすくなった。



ポータル

勤怠システム、リフォーム&リペア素材販売業者サイトへのリンクなど、あらゆる業務の入り口として集約。[ワークフロー]の承認申請の進捗状況や決裁案件なども表示され確認できる。

ご利用中のお客様の声

**タブレットでFC店舗を支援。
現場力を高める情報共有をめざして。**

—— グループウェア導入の経緯や以前の課題について教えてください。

きっかけは、本社とフランチャイジー(以下FC)全店舗約700店にタブレットを一斉導入したことでした。以前は電話とFAXで、本部の連絡事項が不達になる問題などが起きていたのです。

しかし、いざ運用を開始してみると、情報伝達手段がメールに集中し、「既読/未読が確認できない」「メール検索に時間がかかる」「大容量ファイルを添付できない」など利用上の課題も出てきました。

そこで、情報を効率よく整理・共有するためグループウェアを導入し、店舗支援の情報環境を整備することにしました。

本部の情報を全店舗で確実に共有し、情報の種別や目的に応じて機能の使い分けにも配慮しました。

特に承認申請や店舗の資材発注などの決裁については、「電子データへ移行したい」という経営層からの強い要望も上がっていました。

**実現したい活用法や課題解決に、
豊富な機能で応えてくれるdesknet's NEOを採用。**

—— 製品選択で留意なされた特長や機能はありますか。

まず、FC店舗の主要業務に集中できるように、スタッフや現場に負荷をかけず情報提供を実現すること。さらに、エリア担当のスーパーバイザー(以下SV)と店舗スタッフ間で交わされる現場の生きた情報を全社で把握し、情報資産として活かすことでした。desknet's NEOは活用想定機能の社内評価や反応が良く、多忙な店舗スタッフにも使いこなせ、運用負担のないクラウド型です。さらに、イニシャル&ランニングコストも適正と判断しました。活用を想定していた各種重要機能の試用結果も申し分なく、加えて[安否確認]が、東日本大震災時の教訓や災害時のFC運営各社との協力体制づくり、今後多発する自然災害への対策に活用できそうだと評価できました。

**店舗・スーパーバイザー・本部連携で営業力を強化。
地域密着のブランド力を醸成。**

—— 導入後、情報共有の手応えや変化、効果はいかがでしたか。

FC700店の売り上げを翌日までに集計。
細やかな全店フォロー＆サポートが可能になりました。

AEON
Reform Studio
リフォームスタジオ株式会社



情報種別やプライオリティ、緊急性を意識した情報共有が実現しました。情報種別ごとの各機能への振り分けは順調に進み、中でも期待通りの効果を得られたのが、[ワークフロー]と、特定メールのファイルを保存する[文書管理]の自動取込機能です。

—— [文書管理]の自動取込機能の活用手法とは？

全店の売上速報がPOSレジからサーバーに随時アップロードされ、売上速報の帳票を自動作成し、その帳票が添付ファイルとして専用アカウントに送信されると文書管理に登録保管する仕組みです。以前は3～4時間かけて手入力した後にFAX送信してまとめていました。

現在は、翌朝7時には一斉に全700店舗の売り上げを確認し、正確な月間累計売り上げの速報を本部、全店で共有しています。店舗・SV・本部が結果を一斉に見られるので、売り上げ増に直結する戦略的なインパクトがあります。

—— 経営陣からの熱望に応えた[ワークフロー]の効果はいかがですか。

経営陣は、決裁が滞らないよう外出先でも意識的に承認してくれます。重要かつ緊急案件の対応も迅速になり、店舗用伝票や消耗品の「備品・資材類の

注文書」を移行したことで、注文書作成やFAX送信の手間がなくなり、店舗の省力化や確実な資材発注も実現しました。

店舗では、リフォームや修理など集中力を要する業務が多く、細やかな接客も要求されます。desknet's NEOの活用で、店舗の実情がSVから「確実にフィードバックされ本部で取り上げられ」「共に対策を考えてくれる」という信頼感や安心感も醸成され、多忙な店舗が主業務に集中できる環境が整いました。desknet's NEOをさらに活用して、店舗をフォローする体制づくりや地域密着型のブランド力の醸成、技能の継承や職場の改善など、働きやすい環境づくりにも役立てていきたいですね。

人事総務部
システムグループ



造田 智明 様

人事総務部
システムグループ



穂積 雅子 様

04

desknet's NEO
導入事例



株式会社NHS

サービス

生損保険代理店業務

250
ユーザー



クラウド版

導入時期	2017年	従業員数	1,000名(グループ全社)	設立	2012年1月	所在地	東京都中野区
事業内容	生命保険、損害保険代理店業務および年金資金・資産運用、相続に関する相談業務。生命保険21社、損害保険8社、少額短期保険3社と代理店委託契約を締結。「テレマーケティング」「訪問」「Web」「SHOP」の4つの販売チャネルによる募集体制を整え、既存顧客数約15万件を保有。						
URL	https://www.n-h-s.co.jp/						

目的・効果

メール・電話の削減

電話とメール中心の現場から、課題解決型の情報共有へと進化

この事例の ポイント

- 1 セクションを超えた全社共有の情報基盤を整備したかった。
- 2 人事異動にも即応できるメンテナンス性を評価。desknet's NEOを採用。
- 3 電話やメールに依存しない情報共有の効果をユーザーが体感。全社に活用が定着。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

利用制限はなく、全ユーザーが手帳と同感覚で利用し定着。スケジュールの全社公開共有で所在が即時確認できるようになり、スマートフォンやタブレットでの活用も日常化。ユーザー相互の自主管理の効果でバックオフィスへの問い合わせもなくなり、利用度は成熟している。

ワークフロー

各種申請書類を移管。経費精算、備品購入、PC・ストレージ関連、残業、有給休暇、休日出勤など10以上の書式を運用。承認申請の速さより確実な手続きと運用、記録、統制を図ることを重視。紙の消費量も従来比で約8割程度まで削減に成功。

インフォメーション

全社向けの周知事項、各種案内に活用。一日平均2~3案件がアップされている。売上進捗や各種通達など「見なくてはならない」重要案件を公開することで、ユーザーのログイン習慣化~活用推進にも役立った。

設備予約

会議室・備品予約を中心に活用。空き状況がひと目でわかり、管理効率が著しく向上した。保険会社各社との打ち合わせ、商談、採用関連など多様な会合が行われ、来客・訪問者同士が顔を合わせないような配慮もやすくなった。

ご利用中のお客様の声

セクションを超えた全社共有の情報基盤を整備したかった。

— グループウェアの導入背景についてお聞かせください。

社内には外勤・内勤の営業をはじめ、総務などバックオフィスの各部門がありますが、予定共有は各部門ごとに行われ、全社的な情報共有の厳密なルールやツールがありませんでした。営業部門はすでに保険業務の基幹システムで全体の行動管理が行われ、業務の根幹は共有できていたものの、社内のコミュニケーションで効果的に情報を共有する手段がなかったのです。そこで、全社および部門間の情報共有やコミュニケーションの効率的な基盤としてグループウェアの活用に着目しました。

人事異動にも即応できるメンテナンス性を評価。 desknet's NEOを採用。

— desknet's NEO採用の決め手は何ですか。

当社は、成長や適性に合わせ多様な部署・業務を経験することで、人材・組織の成長や成果につなげるという考えから人事異動が多く、ユーザーや部署のメンテナンスが容易にできる製品であることを重視しました。グループ

ウェア利用経験のない社員も多いことから、直感的な操作のしやすさ、インシヤル&ランニングコストにも留意しました。desknet's NEOは、ロール機能でユーザーや部署を紐づけたあと組織の変更を実施する際の引き継ぎがとてもスムーズでした。導入検討時、人事異動や組織変更が多い当社の実情をネオジャパンのサポートに相談し、確実な回答やサポートをしてもらえたことも採用の決め手となりました。社員が安心して活用できる社内コミュニケーションの場として、desknet's NEOと業務関連の重要情報を扱う基幹システムと完全に分け、厳密なルールに基づき活用しています。

電話やメールに依存しない情報共有の効果をユーザーが体感。 全社に活用が定着。

— 導入後、どのようなタイミングで浸透の手応えを実感できましたか？

導入教育で実施した個別アンケートで[ワークフロー]活用の要望が高いことが明らかになった時です。「申請を効率化してほしい」という具体的な要望が上がるのは、ユーザーがグループウェアの存在意義や活用手法を意識しているからです。浸透度を示す指標として手応えを感じました。[ワークフロー]の活用は当初から計画していたことですが、ユーザーが活用へ

情報共有の大切さを多くの社員が体感することで、
新たなコミュニケーションの文化が定着しました。



株式会社NHS

株式会社FEA



の意欲を示してくれたことで、浸透させやすく、活用推進にも効果を上げられました。経費精算、有給・残業・休日出勤など、紙で運用していた各種申請書類を段階的に移管し、利用度の高い申請書類のフロー化が進みました。業務特性からパソコンの利用制限が非常に厳しく「USBメモリやストレージの利用範囲の許可申請」「基幹システムの利用権限を上げる」など、管理や統制上重要な申請書も含まれます。

— [スケジュール]をはじめとする機能活用に関してはいかがですか。

[スケジュール]はユーザーが手帳感覚で活用し、全社共有されています。「空いていれば予定を入れていい」ルールも定着し、単独営業が基本の保険業務では難しかった相互の予定調整や所在確認が楽になりました。

[インフォメーション]は、売上進捗や各種通達など全社向け告知や周知徹底したい情報に利用しています。特に改善効果が見られたのが[設備予約]で、取引先との打ち合わせや、就職関連の面談など、つねにフル稼働している本社の会議室の空き状況がひと目でわかり、総務部の管理負担がなくなりました。来訪者同士が直接顔を合わせることがないよう、時間設定に気を配るなどの配慮もできるようになりました。

— 企業文化や業務に与えた変化や効果などはありましたか。

以前の電話やメールに頼りがちなコミュニケーション文化から脱却できたことが大きな一歩だと考えています。

業務や社内の課題に対して、「desknet's NEOの機能活用で対応できないかな？」と発想する社員も増え、今後はさらに内容を拡充し続け、困ったときの最初のアプローチとして「まずはdesknet's NEOで」という位置にまで持って行きたいですね。

従業員参加型のイベントの立案など、業務にとどまらない、新たなコミュニケーション醸成の場としても活用していきたいと考えています。

経理総務部 総務課 課長



金澤 白峰 様

05

desknet's NEO
導入事例



サービス

SHIROYAMA HOTEL kagoshima 城山観光株式会社

ホテル事業

400
ユーザー



パッケージ版

導入時期	2018年	従業員数	825名	設立	1963年5月	所在地	鹿児島県鹿児島市
事業内容	1963年城山観光ホテル開業。2018年、開業55周年を機にSHIROYAMA HOTEL kagoshimaに改名。眺望に恵まれ、宿泊、温泉・エステ、婚礼・宴会場、多彩なレストランを備えた大型シティホテルとして、JTBお客様満足度調査「90点以上の宿」17年連続受賞、トリップアドバイザー「朝食のおいしいホテルランキング」5年連続九州1位など受賞多数。						
URL	https://www.shiroyama-g.co.jp/						

目的・効果

他社製品からの乗り換え

顧客満足向上

システム統合で運用を効率化。さらなる顧客満足を目指す

この事例の ポイント

- 1 ホテル名改称、新たな経営改革に合わせてグループウェアを新規導入。
- 2 UIのわかりやすさと機能移行のしやすさ、運用効率やコストも総合的に評価しdesknet's NEOを採用。
- 3 情報を資産として活かす手法が定着。ホスピタリティ、顧客満足につながった。

ご利用中の機能と使い方



インフォメーション

新メニュー、各種キャンペーン、レストランのコンテストや受賞報告、季節イベントなどホテルの最新情報、総務、人事、社内研修、福利厚生などを告知。



15 スケジュール

全ユーザーが公開。会議等では[設備予約][回覧・レポート][議事録]で、予定管理・会議室予約・資料の事前共有・議事録まで一気通貫に実現。機能間連携の効果を実証。



議事録

議事録作成・管理に利用。[スケジュール][設備予約][回覧・レポート]の各機能と併用。



ウェブメール

外部との業務メールとして活用。社内の[回覧・レポート]と使い分け、情報管理の統制を図っている。



回覧・レポート

社内メールとして活用。通数は毎日200~250件に上る。安心して資料や情報が共有でき、ペーパーレス化や情報漏洩防止、サーバーの負荷軽減、回線圧迫防止にも貢献。



ワークフロー

基本申請書類の稟議書と旅費交通費精算、物品購入を運用。現行申請書類は段階的に移行予定。承認申請、決裁の迅速化、ペーパーレス化を推進中。



ネオツイ

お知らせ通知機能で、情報の伝達・入手を迅速に行い、業務効率化・省力化を実現。情報入手スピードが格段にアップ。



文書管理

旧システムの「ファイル管理」より移行。総務部・人事部など部門別ファイルを保管共有。



AppSuite

総務部、秘書室など特定担当者の管理業務をデータ化。属人化を防ぎ「顧客情報」「重要文書」「秘書対応業務」「贈答品履歴」「郵便物管理」の可視化・共有化を予定。「美術品カルテ管理」で800点以上の所蔵品管理に活用。

ご利用中のお客様の声

ホテル名改称、 新たな経営改革に合わせてグループウェアを新規導入。

— グループウェア新規導入の背景についてお聞かせください。

情報環境はサービス、顧客満足、働く環境など、ホテル経営に密接に関わるものです。長期経営計画の最初にホテル関連の重要項目と共に着手したのがシステム更改で、「基幹業務システム」「管理系システム」「情報系システム」3部門のうち、グループウェアは業務に不可欠なコミュニケーションを担う「情報系システム」改革の一環として取り組みました。開業以来、基幹系を中心に自社開発が多く、情報系システムも機能ごとに自社開発とパッケージ製品が個別採用され、メール、ワークフロー、スケジュール、設備予約など複数の機能が4システムに分かれて稼働していました。ユーザーのIT習熟度もレベルアップし、機能ごとに個別ログインするのは「使いにくく」「非効率」と改善を求める声も多かったため、分断されていた機能を1つのシステムにまとめることにしました。めざしたのは、情報共有の効率化によって、社員が情報資産を活かし業務品質向上や働き方改革に役立て、円滑なコミュニケーションとホテルサービスの質の向上を実現することでした。

UIのわかりやすさと機能移行のしやすさ、 運用効率やコストも総合的に評価しdesknet's NEOを採用。

— desknet's NEO採用の経緯、決め手は何ですか。

クラウド活用やセキュリティ対応など、最新システムを維持活用するためには、自社開発よりパッケージのほうが優位です。「情報の伝達・入手が簡単かつ迅速」「業務効率化・省力化が図れる」「レスポンスがよく安定運用できる」などの諸条件を想定して複数製品を検討し、最もニーズに合致したのがdesknet's NEOでした。決め手となったのは、UIがわかりやすく、各種機能間の連携がスムーズで、必要な情報を複数の機能間で有効に活用できたことです。多様な業種の導入実績、バージョンアップ状況、技術的支援やサポート体制などの運用効率、大規模ユーザーにおけるコストパフォーマンスなどが製品採用の重要な決め手となりました。

情報を資産として活かす手法が定着。 ホスピタリティの向上、顧客満足につながった。

— 統合後の機能連携活用で、最初に得られた効果は何ですか？

新規UIがわかりやすく機能間連携もすぐに定着しました。ユーザーが利便性

ホテル内の有益情報はスタッフ間ですべて共有。
極上のホスピタリティでお客様をお迎えします。



を求めていることもあり、活用の展開や浸透は早かったです。

まず会議予約ではワンストップ、シームレスに複数機能を活用できる利便性や効果を実感できました。[スケジュール]の登録、[設備予約]による会議室予約、[回覧・レポート]による議題の事前確認や資料共有、[議事録]の作成・管理まで、一貫して行えるようになり、経営会議からサービスの検証・改善まで、多様な会議の事前予約・準備に活用されています。

—— [ワークフロー] は、特に入念な準備がなされたようですね。

基本申請書類の稟議書、旅費交通費精算、物品購入などを先行運用し、最も改善効果が現れた機能です。連続承認や承認予定・承認状況の確認、関係者への回付など、旧システムにはなかった機能効果で、決裁者・承認者が複数人いる場合の決裁スピードが確実に速くなりました。

—— 同時導入したAppSuiteでも、成果を上げられているとか。

総務部や秘書室など、個別の部署や担当者がExcelで管理していた業務をデータ化し、属人化防止、非定型業務の可視化、共有化を進めています。対象は[顧客情報][重要文書][秘書対応業務][贈答品履歴][郵便物管理]などで、

他に先駆けて運用が定着しているのが[美術品カルテ管理]です。

ホテルが収蔵する800点以上の美術工芸品の管理に活用し、作家や来歴などの作品データや修復履歴などを記載しています。お客様からのお問い合わせにも対応でき、定期的な収蔵品管理・展示替えなどにも活用できます。

—— 情報共有の変化や業務への効果はいかがでしょうか。

システム統合と複数機能のシームレスな連携活用で、確実な情報の入手と共有、情報に対してアクションを起こすスピードが加速しました。業務の中から優先すべき課題を見だし、サービスの向上などの顧客満足、業務改善を推進する上でもdesknet's NEOに集まる情報は重要です。ホテル事業における情報資産としての価値をさらに高めてくれると思います。

執行役員
システム部 部長



田代 涼一様

システム部
総合システムグループ リーダー



三村 昌之様

システム部
総合システムグループ リーダー



川野 史博様

06

desknet's NEO
導入事例



建築・不動産

株式会社イワサ・アンド・エムズ

大規模修繕・新築塗装

115
ユーザー



クラウド版

導入時期	2018年	従業員数	113名	創業	1950年	所在地	東京都文京区
事業内容	東京スカイツリーや六本木ヒルズなどの新築塗装・内装工事からマンションなどの大規模修繕工事の現場まで、さまざまな場所で修繕・塗装を行っている。「正確」「安全」「迅速さ」をモットーに約70年間、顧客との信頼を着実に築いてきた。						
URL	https://www.iwasa-m.com/						

目的・効果

残業削減

工事進捗管理をAppSuiteアプリで報告。集計管理者の残業をゼロに

この事例の ポイント

- 1 事業拡大のなか、より良い情報共有の環境をめざしてdesknet's NEOへ乗り換え。
- 2 脱・残業! から始まったAppSuiteのアプリ開発。標準機能の活用でペーパーレスも実現。
- 3 多彩な機能の活用で、社内のコミュニケーションがいっそう豊かに。

ご利用中の機能と使い方



ポータル

柔軟にカスタマイズできるのが魅力。部署別、社内委員会別、申請処理専用など多彩なポータルが作られた。社内報専用ポータルなど、特異なものも作成・活用。もちろん業務上の情報も可視化し、あらゆる情報を一元的に本機能に集約して効率よく運用している。



アンケート

さまざまな施策にまつわるアンケートや、送別会の出欠確認、社内クラブ活動に関する意見の募集など、多岐にわたる用途で活用中。



ネオツイ

みなが気軽につぶやきを社内発信している。奇想天外な内容に思わず笑みがこぼれる、との声も。



回覧・レポート

ペーパーレス化に最も貢献した機能。フォーマットが決まった事務手続きや連絡、また紙で行っていた回覧作業等を本機能でシステム化した。また、大容量データのやりとりをメールではなくここでやっている。サーバーに負荷もかけず、メールでは対応しきれない大きなファイルも送受信できると喜ばれている。



電子会議室

各種プロジェクトの会議室で議論を進めたり、社内委員会や女性専用の会議室などを設けて社内コミュニケーションを活性化している。



設備予約

会議室、社用車から保養所などの施設管理までを本機能で実施。



15 スケジュール

社員みなさんの予定書き込みが定着している。スケジュールカレンダーに空きがあれば、その時間は融通がきくと判断され、共同予定を立てる際に相手の可否を確認する手間も現在は発生していない。



AppSuite

本文紹介の「工事進捗管理表」アプリの他、社員情報のマスタ、備品貸出管理や外部業者との連携に関わる情報共有などにも利用されている。情報システム担当者からは「desknet's NEOにログインすればすぐにAppSuiteが使える、かつユーザー情報などのdesknet's NEOの情報もシームレスに利用できる点などが良い」と評価されているという。

ご利用中のお客様の声

事業拡大のなか、より良い情報共有の環境をめざしてdesknet's NEOへ乗り換え。

— desknet's NEOに乗り換えるきっかけは何だったのでしょうか。

「IT活用で職場をより良く」との観点から、以前は某国産グループウェアを利用していましたがスケジュールとメール利用が中心で、「職場が良くなった」という印象はありませんでした。システムを見直すきっかけは事業と会社規模の拡大で、旧グループウェアがユーザーの急増に耐えられるか不安で、乗り換えを検討しました。desknet's NEOはコストが抑えられコミュニケーション機能が豊富でした。[ポータル]が予想以上に良く、社内報等を通じて「会社の今」を伝えることも、社員が自由に書き込む場としても活性化できます。そこにアドバンテージを感じました。部署や部門別のポータルも個々に構築しなかったため、そのような作り込みに対応できることも魅力でした。

弊社は多くの現場が平行に進行しており、施工の進捗や会計収支データなど、すべての現場の状況報告を受けExcelで集計していた「工事進捗管理表」の一元管理、共有の効率化に迫られていました。それに応じられるシステムとしてAppSuiteも同ライセンスで同時購入しました。

脱・残業! から始まったAppSuiteのアプリ開発。標準機能の活用でペーパーレスも実現。

— 導入後、どのような効果が出ましたでしょうか。

AppSuiteの数値的な効果はまだですが、「工事進捗管理表」の集計管理をする社員の残業が減り、ペーパーレスが進みました。アプリ開発の主目的は「遅くまで働く社員の残業をなくす」ことでしたが、以前は紙で複数の現場から異なる時間に提出され、「時間通りに不備なく提出されることなかった」報告書が、現場内のどこにいてもスマホでAppSuiteを起動し報告ができるようになったのです。現場にも個々の事情があって、「報告してる時間がない」というスタッフなりの負担もありました。AppSuiteで紙やExcelのような個別報告の「まとめ」作業がなくなり、同時に多くの社員が編集作業に入れるので、一斉報告が終われば「まとまっている」状態になる。報告処理が簡略化したことで、担当者も終業と同時に社屋を出られるようになりました。管理部門が発信する指定書式のある連絡はすべてシステム化し、[回覧・レポート]で流しています。会議の管理にも活用し、出欠の変更や欠席理由をコメント欄に入れるなどで情報のすれ違いもなくなりました。

AppSuiteも連携活用して人間関係がより温かいものに。
円滑なコミュニケーションを事業の成長につなげています。



多彩な機能の活用で、 社内のコミュニケーションがもっと豊かに。

—— 社内コミュニケーションにも良い効果があったとか。

desknet's NEOはやわらかいトーンで設計され特に女性が使いやすさを感じています。[電子会議室]に「女子部」という話し合いの場もでき、多くのコミュニケーションツールが活用されています。[電子会議室]では業務改善の意見も募り、ポータル上には自由形式で書き込めるスペースを設け、「部門からの声」も発信しています。[ポータル]には社内報や本社社員が現場を訪れ、現場の仕事をレポートする「現場だより」も載せています。今まで難しかった、現場と内勤を結ぶ交流の機会となっているのです。

[電子会議室]はチャット的なやりとりで、社内報の意見出しや校正などを行い、より良いクオリティへと進化しています。

[ネオツイ]もおもしろい機能で、「ムササビが事務所に飛び込んできた!」というつぶやきがあったり、新潟・長岡の花火を現場社員が発信したことで、「行きたい」との声が上がり、実際にツアーも実現しました。

—— desknet's NEOで得られた社内の変化とはどのようなものですか。

現場と本社は、ともすれば「本社は現場をわかってない!」といった関係に陥りやすいものです。弊社では、人間関係の軋轢が生まれにくいよう、昔から気を配ってきたのですが、desknet's NEOとAppSuite導入後は、社内の人間関係がより温かいものになってきています。[ネオツイ]や[電子会議室]による部課や役職の垣根を越えたコミュニケーションも活性化し、いわゆる「成長企業が抱えがちな『コミュニケーションギャップ』」への対策も効果が見込めています。生産性向上はもちろん、いちばんの効果は、この「つながりを強める」点にあると私たちは感じています。

リニューアル本部
管理統括部長



山田 博巳 様

リニューアル本部
業務管理部



富山 香菜 様

リニューアル本部
業務管理部



児玉 優里 様

07

desknet's NEO
導入事例



交通・運輸

株式会社イトー急行 (ニッコンホールディングスグループ)

貨物運送・貨物取扱事業、物流センター・倉庫業ほか

導入時期	2010年	従業員数	745名	設立	1959年2月	所在地	愛知県瀬戸市
事業内容	一般貨物自動車運送事業、特別積み合せ貨物運送事業、貨物自動車利用運送事業、物流センター事業及び倉庫業等。提携路線便による「全国配送」、複数企業の製品を納品先ごとに積み合わせる「共同配送」、物流センター、倉庫(保管/入出庫/在庫管理)運営など。全国16カ所に営業所、輸送拠点を展開。						
URL	http://www.itoexp.co.jp/						

180
ユーザー



パッケージ版

目的・効果

他社製品からの乗り換え

メール・電話の削減

メール中心だった情報を各機能に振り分け整理。経営を動かす重要情報をポータルに集約

この事例の ポイント

- 1 メール中心の旧製品を見直し、目的・種別ごとに情報を活かせる環境にしたかった。
- 2 社内教育不要のわかりやすさとコストパフォーマンスを評価。
- 3 ポータルの拡充で活用度も向上。ログイン後は、あらゆる業務へのアクセスが可能に。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

全拠点、全ユーザーが共有。離れた拠点間の会議・打ち合わせのスケジュール調整で積極的に活用。[設備予約]と連携、通知メール機能の活用も定着。

ウェブメール

[スケジュール][インフォメーション][回覧・レポート]など各種機能の活用で、内線電話やスケジュール調整などの個別のやりとり、添付ファイルも少なくなり、情報のメールへの集中が改善された。



回覧・レポート

週報、月報、安全会議報告書などの提出・確認に活用。安全衛生の啓発と各事業所の活動報告を集約し、安全管理部と役員が共有するなど、業務・教育関連の報告書共有にも活用されている。



インフォメーション

顧客情報、その他一斉通知が必要な事項を掲載。全社、組織ごとの情報通知・確認に活用。「新規取引先の紹介」時には取引先コードと共に社員に一斉通達される。



設備予約

会議室を中心に備品などの予約に活用。全16拠点のエリア合同会議、テレビ会議の予定調整に不可欠な機能として、スケジュールと連携して利用されている。



アンケート

情報管理課のユーザーアンケートやIT社内研修に活用。IT内部統制やセキュリティ研修資料を提供し、コンピュータの正しい利用法、ルール、情報管理規程等のリテラシー教育と学習後の理解度の把握・意識の浸透度について調査。理解の度合いや難易度の高い内容については、個別の指導教育につなげている。



文書管理

社内規程、申請書類、月次資料、組織や各種プロジェクトの資料、文書を共有。全社公開文書のほか、部課ごとにアクセス権管理して活用。安全衛生活動「KYT(危険予知トレーニング)」の講習動画など、文書以外の共有にも役立っている。

ご利用中のお客様の声

メール中心の旧製品を見直し、 目的・種別ごとに情報を活かせる環境にしたかった。

—— 以前の情報共有の課題についてお聞かせください。

著名なクライアント・サーバー製品を採用していましたが、情報がメールに集中してしまい、日々の業務連絡から会議予定確認、業務資料の添付ファイル共有まで、通数が多く煩雑化していました。管理者クラスには関連部署の週報や月報もメールで提出され、週明け出社時には報告書関連だけで30～40通もあり、情報整理や時系列でたどるのにも不便でした。そこで、情報を種別や優先度、目的ごとに効率よく整理・共有し、全ユーザーが業務に直結する情報をリアルタイムで有効活用できるような環境をめざしました。

社内教育不要のわかりやすさとコストパフォーマンスを評価。

—— 製品検討手法、desknet's NEO採用の決め手は何ですか。

旧製品は自社開発や各種設定など機能の作り込みが必要で、管理運用面で負荷がかかっていたため、パッケージソフトの採用に着目し、使いやすく、見た目もわかりやすい製品を意識して選考しました。

デモを実施して比較検討した結果、社内展開のしやすさや、運用負荷もかからず、インシヤル&ランニングコストで優位だったdesknet's NEOを採用しました。導入教育も特に行わず「何日からdesknet's NEOに変わります」というアナウンスのみで切り替え、本社・営業所・輸送拠点など全国16拠点、グループ会社2社での活用が定着しています。

ポータルの拡充で活用度も向上。 ログイン後は、あらゆる業務へのアクセスが可能に。

—— 各部の上職者の皆さんが利用浸透に積極的だったそうですね。

ニーズが最も高い[ウェブメール][スケジュール][設備予約][文書管理]から利用を開始し、利用状況や社内ニーズに応じて[回覧・レポート][インフォメーション][アンケート]、ポータルの活用へと進めたのですが、導入初期に各部の上職者が意識的に積極活用したことで活用が進み、やがて「desknet's NEOを見ればすべてわかるので便利」という意識と共に全社定着しました。もともと経営陣・管理職は拠点間の合同会議や打ち合わせが多く、テレビ会議の予定調整や確定後の通知メール機能も早期に活

経営分析から、品質管理、安全衛生管理まで。
業務の重要情報すべてにアクセスしています。

株式会社イトー急行
ニッコン
(ホールディングスグループ)



用が定着するなど、効果をすぐに実証でき、それが利用展開や浸透にも良い影響を与えてくれたのです。

——活用定着後、新たにポータルへの拡充にも着手なさったそうですね。

ポータル機能には複数のタブを切り分けて活用する手法を取り入れました。desknet's NEOの主要機能は、ポータル上の「メイン」タブに設定し、情報の流れを種別・目的ごとに整理することでメール本数も大幅に削減でき、重要度や緊急性を意識した情報共有を実現できました。

その他「メイン」「イトーWeb」「日々指標」「会社方針」「情報活用」「Web業務」「QCサークル」など複数コンテンツのタブを設定しています。

「Web業務」は自社システムと連携、「情報活用」は売上指標、損益など、月次の経営資料やBI指標など経営分析に活用するもので、経営陣や各部課長は必ず見えています。中でも職場の問題解決にチームで取り組む自発的な活動「QC (Quality Control=品質管理)サークル」への取り組みは、製品やサービス品質、安全衛生や生産性向上など、現場の課題を共に解決しようというもので、経理部なら「入金処理業務における作業の短縮化」、輸送の現場なら「安全衛生向上や品質向上」など、業務改善や働き方改革につなげています。

チームごとの取り組みや進捗状況、活動の成果をつぶさに共有し、時にはリーダーや上職者がアドバイスを加えながら「QCサークル大会」を開催。発表・受賞までの全過程を共有しています。

——活用を通して業務への効果や手応えは得られましたか。

desknet's NEO導入後、機能活用の利用度も上がり、社内の情報共有も著しく進化しました。基幹システムのWeb化が進む中で、あらゆる情報をdesknet's NEOのポータルに一元化できるようになったのです。何をすることも[ポータル]がないと始まらないので、業務でパソコンを使う社員は入社したら100%、desknet's NEOにログインします。タブの切り替えだけで、業務に必要な情報すべてにアクセスできるこの環境が、今ではあたり前のものとなっています。

取締役 経理部 部長



廣瀬 孝博 様

営業企画部 企画課 課長



本田 和寛 様

経理部 情報管理課 課長



河邊 達也 様

08

desknet's NEO
導入事例



官公庁

ふくおか電子自治体共同運営協議会

自治体

4,410
ユーザー*

導入時期	2017年	参加自治体	福岡県および県内51市町村	設立	2002年10月	所在地	福岡県福岡市
事業内容	福岡県と県内市町村による電子自治体の構築・共同運用を目的に設立。県と市町村の連携・協働で電子自治体の構築・運用・利活用を推進。2013年「ふくおか自治体クラウド(FMC)」としてサーバーや通信回線等の共同利用「IaaSサービス」、2014年より業務アプリケーションも含めた共同利用「SaaSサービス」を開始。						
URL	http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kyogikai.html						



クラウド版

*desknet's NEOを採用している市町村の累計ユーザー数です。(2018年11月現在)

目的・効果

コスト削減

共同利用で運用効率化とコスト削減を実現。福岡県内市町村のdesknet's NEO活用を支援

この事例の ポイント

- 1 クラウド共同利用を目的に、市町村にとって活用しやすいグループウェアを選定。
- 2 コストと機能を評価。
加入市町村が活用するための推奨グループウェアにdesknet's NEOを正式採用。
- 3 導入市町村も増加中。共同利用のメリットを最大限活かしてdesknet's NEOを展開。

ご利用中の機能と使い方



インフォメーション

職員間の業務のやりとり、行事や催事などの案内も含めた職員への情報周知に活用。(福津市)
導入数カ月で毎日更新情報がアップされ、職員の利用浸透度も高い。(行橋市)
事務連絡や照会事項等の連絡に利用。(刈田町)



15 スケジュール

課や係で全職員のスケジュールを共有して使う手法が浸透。所属を選んで選択すれば、職員のスケジュールが一覧で見られるのが好評。課をまたいだ合同プロジェクトにもユーザーを選択して活用している。(大川市)
スケジュール機能の使い勝手が向上したため、各課でスケジュールのルールを決めて共有する習慣が定着した。日程変更の際、ドラッグ&ドロップが可能なのも使いやすい。(刈田町)



ウェブメール

一度のログインで各セクションの共有メールアドレスと庁内限定の個人アカウントの切り替えができるところが職員に好評。(福津市)
個別にログインし直さなくてはならなかった、課や係の共有メールと個人メールが個人アカウントでログインすればすべて一覧で見られるようになり、便利になった。(大川市)



設備予約

会議室の予約がどんどん埋まり活用が進んでいる。以前は電話で担当部署が口頭対応していたパソコン貸与も【設備予約】の活用で利便性が高まった。(行橋市)
庁内の会議室や公用車の管理用として活用中。(大川市)



閲覧・レポート

社内メールのようなイメージで展開。メールではできない添付ファイルを表示させながら、共有相手の閲覧状況も把握でき、庁内共有ではメールより使いやすい。(刈田町)



アンケート

人事が紙で集めていたものに活用。福利厚生関連の意見収集などに利用している。今後、さらに業務寄りの活用を想定し、紙で行っていた意見収集などの作業を移行予定。(刈田町)



ネオツイ:ダイレクトメッセージ

庁内で頻繁に利用される内線電話に替わり活用を推奨。相手の都合に配慮しなくてもよく確実に伝わり、電話の本数や占有率を減らすことにつながっている。(刈田町)

ご利用中のお客様の声

クラウド共同利用を目的に、市町村にとって活用しやすいグループウェアを選定。

— ふくおか電子自治体共同運営協議会の発足経緯をお聞かせください。

市町村が業務効率化を図るにはICTの利活用や電子自治体化の推進が不可欠ですが、自治体ごとに人材・技術・財政面など異なる課題を抱え、格差も生じていました。福岡県では市町村を支援する重要性を感じ、「自治体が必要としているもの」「県が提供したいもの」を合致させるため、2002年福岡県と県内市町村による共同事業として「ふくおか電子自治体共同運営協議会」(以下ふく電協)を設立しました。

県と市町村が連携協働で、電子自治体の構築や地域情報化の推進に着手し、総合行政ネットワーク(LGWAN)機器の共同調達や電子申請、電子入札、重要データバックアップなどの各種サービスの提供、「ふくおか自治体クラウド(FMC)」(以下FMC)によるハードウェアの共同利用「IaaSサービス」や、業務アプリケーションの共同利用「SaaSサービス」などを共同調達・運用しています。グループウェアに関しては事前に製品の「検討部会」を立ち上げ、SaaSでの提供を前提に現行の主要製品を約1年検討しました。(ふく電協)

コストと機能を評価。加入市町村が活用するための推奨グループウェアにdesknet's NEOを正式採用。

— desknet's NEO正式採用の背景・決め手となったのは何ですか。

コスト、基本機能(外部および内部メール、スケジュール、設備予約、電子掲示板)、追加機能の付加価値などから3製品に絞り、要件定義、プロポーザルを実施。'17年1月desknet's NEOを本調達しました。決め手となったのは複数自治体の諸要件を満たし、市町村のシビアな予算感覚に伝える導入・運用コスト。ChatLuckやAppSuiteなどのオプション機能の将来的な可能性を他製品にはない利点として評価しました。(ふく電協)

導入市町村も増加中。共同利用のメリットを最大限活かしてdesknet's NEOを展開。

— 導入市町村の推移やご利用状況はいかがですか。

市町村ごとに既存グループウェアの契約更新やリプレースのタイミングがあるので、段階的な利用拡大を想定していましたが、当初の予測を超え、短期間に導入市町村が増えています。

ふく電協の共同調達によって、自庁方式で構築するよりコストをかけずグループ

クラウドの共同利用で各市町村の使いやすさを追求。
情報共有や働き方を変え、より良い住民サービスを提供します。



ウェアをクラウド導入できる点は高く評価され、「以前の製品でできたことは、desknet's NEOでカバーできる」という声も上がっています。(ふく電協)
「[ウェブメール]のメールアカウントを外部メールに、[回覧・レポート]を庁内メールに利用。利用端末でどちらも確認できる利便性が好評」(福津市)
「稼働から数カ月で[インフォメーション]は毎日更新され、[設備予約]の会議室予定がどんどん埋まるなど短期間で利用が定着」(行橋市)
「コストを抑えるためデータ移行を職員で実施したが、組織情報をCSVで取り込み問題なく稼働できた。活用する職員が増えた」(大川市)
「以前の活用法を各機能にあてて実用化する取り組みから、豊富な機能を新たな課題解決や作業の効率化に応用する段階ステップアップしました。まずは庁内内線電話の代わりに[ダイレクトメッセージ]を活用し、内線本数や電話の占有率を減らすことに成功」(苅田町)
などなど、導入自治体ごとに独自の活用展開が進められているところです。また、AppSuiteで人事評価などのシステムを作成し、一団体のフォームを共有化して加入団体全体で運用するなど高度な利用推進を図るアイデアも上がっています。desknet's NEOは多機能なので「活用法」は限定できません

が、市町村はどことも同様の業務を行っているので、活用手法の実績や成功事例を共有し水平展開できれば、さらなる活用の進化、大きなメリットにつながります。(ふく電協)

— desknet's NEOの手応え、今後のご活用展望はいかがですか。

市町村活用が着実に進んだ背景に自治体ならではのコストメリットの追求があったのは確かですが、利用団体の操作性への評価や信頼度は高く、すでに「ChatLuckやAppSuiteなどのオプション機能を利用したい」という声が複数の市町村から上がっています。desknet's NEOの導入を機に、FMC-SaaSの提供サービス全体の利用も進んでいるので、波及効果を最大化するためにも、活用を推進していきたいと思えます。(ふく電協)

福岡県 企画・地域振興部
情報政策課
(ふく電協事務局)
主任主事



宮野 紀史 様

福津市
(糟屋・宗像ブロック)
総務部総務課
情報管理係



石津 輝昭 様

行橋市
(北九州・京築ブロック)
情報政策課
情報政策係



永野 陽祐 様

大川市
(久留米ブロック)
企画課
電算システム係



坂本 大輔 様

苅田町
(北九州・京築ブロック)
企画財政課
情報政策担当



吉本 圭介 様

09

desknet's NEO
導入事例



官公庁

島根県大田市役所

自治体

750

ユーザー

導入時期	2018年	従業員数	483名	市制施行	2005年10月	所在地	島根県大田市
事業内容	島根県中央に位置し、2007年「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録。国立公園「三瓶山」、鳴砂で有名な天然記念物「琴ヶ浜」、「三瓶温泉」や「温泉津温泉」、伝統芸能「石見神楽」など、歴史、文化、自然に彩られた観光資源に恵まれている。						
URL	https://www.city.ohda.lg.jp/						



パッケージ版

目的・効果

顧客満足向上

個別運用していたシステムを統合。世界遺産の街で、業務改革に貢献

この事例のポイント

- 1 個別運用していた庁内の各種システムをグループウェアに統合したかった。
- 2 スムーズな機能間連携と職員の評価、AppSuiteに着目。desknet's NEO採用へ。
- 3 機能間連携で庁内業務を迅速化。島根県西部地震ではリアルタイムで被災状況を共有。

ご利用中の機能と使い方



インフォメーション

議会関連、来年度予算、合同の行事日程告知など、個人特定や既読確認が不要な重要案件の告知に活用。ログイン時に確認する習慣が全職員に定着。



15 スケジュール

全庁全職員の予定共有を実現。電話・内線による予定確認・調整が不要となり、[設備予約]との連携で、予定調整や会議室予約の効率化が進んだ。



設備予約

庁内会議室、公用車などの予約管理が[スケジュール]と連携し、利便性が高まった。部課ごとから、個人の管理となり、予約者間の日程調整がしやすく、不要な空きや重複等の手違いもなくなった。会議室はつねにフル稼働のため[設備予約]なしでは運用できない状況。



回覧・レポート

庁内メールと同様の活用が定着。資料の事前共有や資料へのコメント、既読確認ができ、利用度が高い。2018年4月島根県西部地震では、被災地調査の人員派遣や地域避難所の係員調整、被災状況調査の情報共有に活かされた。



ネオツイ:ダイレクトメッセージ

メール添付していた多様なファイルの共有に活用。既読確認可能、挨拶文も不要で着信確認も早い。利便性の高さから庁内のやりとりに自然に定着。



ネオツイ:つぶやき

公的・重要度の高い[インフォメーション]の情報と切り分け、軽微な告知情報等に利用。導入直後の2018年4月島根県西部地震の際には、職員の発案で被害状況の緊急報告にも活かされた。



ウェブメール

部課と個人アカウントを使い分け、行政機関や外部事業者との通信に活用。庁内通信は[回覧・レポート][ダイレクトメッセージ]へ移行し、メール本数削減、サーバーの負荷軽減など運用管理面での効率化が進んだ。



ポータル

「大田市ポータル」のタブを設定。個別に稼働していた庁内システムのリンクを配置。原課が単独利用しているシステム以外、庁内の全システムをポータルに集約。



AppSuite

既存のデータベース管理システムで作成した簡易システムや行政業務特有の表計算ファイル等を整理して連携。専門知識がなくても職員自らウェブデータベース等が作成できるような環境を整備中。

ご利用中のお客様の声

個別運用していた庁内の各種システムをグループウェアに統合したかった。

— desknet's NEOの導入経緯についてお聞かせください。

以前は自治体のシビアなコスト意識から、電子掲示板、設備予約、スケジュールなどを個別のオープンソースプログラムで、コストをかけず実用化していました。メールのみクライアントメール製品でしたが、利用のたびに複数のシステムを切り替えるのが面倒で、OS更新やバージョンアップのために端末管理や運用負荷がかかっていました。そこでウェブメールを検討したのですが、同程度のコストでグループウェアが稼働できることがわかり、抜本的に庁内システムを見直し、グループウェアへの一本化で業務改善を推進することにしました。

スムーズな機能間連携と職員の評価、AppSuiteに着目。desknet's NEO採用へ。

— desknet's NEO採用の決め手となったのはどのような点ですか。

特に重視したのは、「市役所業務に必要な機能が標準で実装され」「IT習熟度を問わず全職員が利用できる」ことでした。運用面では「バージョンアップで最新機能が備わり」「サポートが継続される」点にも留意しまし

た。製品ごとのバージョンアップ頻度、不具合修正、機能追加などの経過や進化の度合いも製品の選定基準としました。desknet's NEOは正式採用に先駆け結成した、年齢、ITスキルなど多様な属性の職員からなるワーキンググループの評価が高く、「明快なGUI」「定期保守内で最新ブラウザやOSに適応」などを評価しました。さらに他製品にはないメリットとしてAppSuiteの連携活用にも着目しました。専門知識がなくてもWebデータベースが作成でき庁内の簡易システムや行政業務特有の表計算等、山積していたファイルを連携活用、整理できると評価しました。

機能間連携で庁内業務を迅速化。島根県西部地震ではリアルタイムで被災状況を共有。

— 導入後お感じになった情報共有の変化や手応えは何ですか。

複数の機能を連携活用できる利便性を全職員で実感しました。[スケジュール]と[設備予約]の連携で会議設定などのすべてを一貫して行え、[スケジュール]共有化で部課をまたいだ横断的プロジェクトや会議など、あらゆる予定調整が速く確実になりました。拠点数も本庁や支所など計40カ所以上あり、全拠点間の情報共有が実現した意義は大きいです。情報共有の速さだ

庁内システムをポータルに集約。事務の入り口が統合され 市民サービスに直結する業務の効率化が進みました。



けでなく、機能の使い分けて情報が整理され、効率よく伝達・共有・管理できています。メールに集中しがちだったやりとりも、外部は [ウェブメール]、庁内は [回覧・レポート] や [ネオツイ] を活用する手法が定着し、情報漏洩防止や添付ファイルのサーバー負荷を抑制する上でも有効です。

—— 災害対応にもご活用いただいたそうですね。

導入後約1カ月後に起こった島根県西部地震（'18年4月9日）では、災害対策本部の緊急判断で [ネオツイ: つぶやき] を被害調査派遣や情報集約に役立てました。被害状況の「調査済み件数」「調査依頼の対応状況」「被害地区の最新情報」などが瞬時に全庁共有され、調査派遣の人員調整には [回覧・レポート] を活用。迅速に被災状況を共有できました。

—— [AppSuite] のご活用状況はいかがでしょう？

一覧表や管理表を表計算ファイルにフィルタをかけ活用するのが定例化しており、一部マクロを組んだ表が作成時のOSバージョンに依存していたため処理できず、ファイル破損もよく起こっていました。利用度や汎用度の高いファイルを [AppSuite] で一元管理すれば活用度も広がり、職員自身で部

課の用途に合わせWebデータベースを作成でき、応用度が高いと考えています。「ユーザー管理表」「産業廃棄物の許可事業者の管理表」「犬の登録と狂犬病予防注射の実施表」などのシステムを先行稼働させ、原課のユーザーも業務に応じて任意のシステムを作成できるよう、活用を推進しています。

—— 導入1年で活用も進化しました。効果や手応えはいかがですか。

情報共有のスピード・質・タイミング・印象が大きく進化しました。遅延や滞留が起こっていた紙文書の回覧がなくなり、内線電話が [ネオツイ] のダイレクトメッセージに置き換わりました。つぶやきで簡単に全職員向けの情報発信もできるようになり、島根県西部地震の緊急対応では、ユーザーの発案で正確な情報共有にも貢献してくれました。desknet's NEOは職員間のコミュニケーションの新たな方法として着実に定着し、庁内の働き方や業務の改善にも役立つと思います。

政策企画部情報企画課



稗田 督晃 様

政策企画部情報企画課



中祖 優基 様

10

desknet's NEO
導入事例



株式会社城山

情報・通信

情報通信機器商社

200
ユーザー



パッケージ版

導入時期	2010年	従業員数	450名	設立	1976年9月	所在地	兵庫県姫路市
事業内容	情報通信のトータルサポート企業として、各種業務用無線機、雷検知システム、デジタルタコグラフ、防災無線、ビジネスフォンなど各種通信機器のレンタルおよびセキュリティシステムを企業・自治体などに提供。その他、携帯電話キャリア各社42店舗運営、PC、OA機器レンタル、クラウドサービス等の事業を行っている。						
URL	https://www.shiroyama.co.jp/						

目的・効果

ナレッジ共有・属人化防止

ナレッジベースとして情報資産を有効活用。[ワークフロー]の作業依頼書で属人化を防ぐ

この事例の ポイント

- 1 事業の拡大・成長にともない事業所・店舗が増加。情報共有やナレッジベースの基盤が必要になった。
- 2 コストパフォーマンスとITスキルを問わない使いやすさを評価。desknet's NEOを採用。
- 3 ユーザー独自の活用手法が発展。品質向上と顧客満足度の推進や決済の迅速化を実現。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

訪問・納品・工事日程など、サービスマンの工事・作業の割り当てに活用。予定記入時に顧客要望を記録、工事後は担当者が施行内容を記録し顧客対応履歴として保存。継続的なサービス、品質管理に役立て、予定の精査でワーク・ライフ・バランス管理にも活用。

回覧・レポート

閲覧状況を把握したい告知に活用。多忙な携帯電話事業の店舗でも管理しやすく、見落とし予防にも貢献。紙の通知やレジメの削減・廃止でバックヤードにスペースがなく文書保管が負担になる店舗に配慮。

電子会議室

複数部署・チームによる業務内容のナレッジベースとして定着。「雷検知システム」の顧客対応記録を技術者・営業で共有し検索機能を活用しながらサポート・メンテナンスを円滑化。CRMツール的な活用が定着。

設備予約

会議室・電子機器・車両等の予約・利用状況を一元管理。効率的な管理・予約重複予防を実現。ダブルブッキング、予定変更後の調整し忘れがなくなり会議室の利用効率を大幅に改善。

インフォメーション

製品および技術提供、協賛事業として参加したスポーツ他の各種イベントレポート、社長年頭所感・挨拶などをビデオ配信。

文書管理

申請関連電子書類の一元管理・共有に活用。[ワークフロー]申請フォーマットなどユーザーが変更できない定型ファイルの最新版を保管利用し、承認後のファイルも自動保存で一括管理。紙文書の保管庫や書類管理・廃棄コストの削減にも貢献。アクセス権設定で各事業部の業務文書保管庫としても活用。

ワークフロー

稟議書、経費精算、残業申請、作業依頼書など30以上の書式を運用。役員幹部が出張中も承認決済が滞らず、決済スピードが加速。承認業務の円滑化が進んだ。作業依頼書の活用によって社内業務依頼の統制が図られ受発注者の責任が明確化された。属人化予防、社内業務のルール化、コスト意識が定着。

ご利用中のお客様の声

事業の拡大・成長にともない事業所・店舗が増加。情報共有やナレッジベースの基盤が必要になった。

—— グループウェアの導入背景についてお聞かせください。

予定確認や調整、業務上の情報交換が電話とメール中心で、周知徹底や全社浸透が難しく、有益情報を系統立て管理し、実務に役立てるのが難しい状況でした。各種申請も紙文書で承認申請から決済までの流れが遅く、社員が業務のスピード感を意識しても、情報共有の環境がないため行き違いが生じ、有益な情報も活かしきれませんでした。日々更新される情報をリアルタイムで共有し、業務上の記録や有益な情報をナレッジベース化しようと「情報共有と情報資産の有効活用」をめざしました。事業は着実に成長・拡大し、事業所、社員数、携帯電話事業の出店数も伸び続けており、離れた事業所間を確実に結び、情報共有・有効活用するための環境づくりに、グループウェア導入を決めました。

コストパフォーマンスとITスキルを問わない使いやすさを評価。desknet's NEOを採用。

—— desknet's NEO採用の決め手は何ですか。

導入後活用の中心となる機能の使いやすさやコストパフォーマンスを重視し

[スケジュール][設備予約][ワークフロー]など、利用想定機能の利便性、ユーザーになじみやすいGUI、ランニングコストを抑えられるパッケージ版であることが採用の決め手でした。導入後は利用ニーズが高くわかりやすい[スケジュール][設備予約]を中心に利用を開始し、紙による共有手法は一切禁止して情報をdesknet's NEOに集中させ、役員や各部所属長も部内で積極的な利用を進め短期間で活用が定着しました。その後バージョンアップを重ねて進化を続け、現在6事業所、42店舗の情報共有を実現しています。

ユーザー独自の活用手法が発展。品質向上と顧客満足度の推進や決済の迅速化を実現。

—— 導入の確かな手応えは実感できましたか。

[スケジュール]の全社共有を導入時より実現でき、部署や事業所間の仕事のつながりが同一画面上で確認できるので、以前のメール中心による個別連絡・確認・調整がなくなり業務が大幅に改善されました。[設備予約]で電子機器・車両・会議室の一元管理も実現し、予約重複によるトラブル抑止効果がありました。姫路本社は来客数が多く、会議室の稼働率向上が、顧客対応や業務改善効果にもつながっています。

情報共有の確実性、決裁や決断のスピードが速くなり、
経営を加速するエンジンとして日々活用しています。



—— ユーザーの自発的なアイデアが活用をさらに進化させたとか。

本社事務員がお客からメンテナンスや工事依頼の電話を受け、工事作業の割り当てを行う際、訪問・納品・工事日程などの管理項目を[スケジュール]の「内容欄」に記入する手法です。工事日程に施工内容などの対応履歴を残し、施工後に営業や工事担当者が特記事項を追記して、申し送りしています。前回訪問時の日付から、工事履歴が全事業所で共有・確認できるようになりました。

—— ナレッジベースやその他の機能利用についてはいかがですか。

詳細な業務内容のナレッジ化に[電子会議室]を活用中です。当社提供の「雷検知システム」はリアルタイムで雷・降雨リスクを予報しゴルフ場やイベント会場の安全管理に活用されていますが、運用上の問い合わせなどフリーダイヤルの顧客対応記録を[電子会議室]で管理し、記録内容をサービスの拡充や技術・品質改善に役立てています。

[ワークフロー]は申請書類30種以上で活用が定着し、申請書類の保管や廃棄など管理コストのすべてが削減できました。サービスマンや工事担当者、システム部などへの作業依頼や社内発注は以前は口頭で、受発注の経緯が問題になることがありました。そこで[ワークフロー]の作業依頼書をエビデ

ンス目的で採用し、すべての社内発注に対して、上長の承認を得てから正式発注するルールを厳密化しました。発注内容の精査から対応部署の稼働状況まで、全業務が見え、案件に対して部署全体で対応する体系が定着しました。すべてがオープンになったことで、安易な発注を防ぎ、特定スキルを有する社員に同一作業が集中する「属人化予防」にもつなげています。

—— 企業や業務に与えた変化をどのようにご評価なさっていますか。

業務情報の一元管理により、コミュニケーションの円滑化が進み、情報発信者・管理者双方のスタンスの明確化、伝達の手続きや周知の徹底具合まで確認できるようになりました。ユーザーが独自に機能活用のアイデアを実用化しているのもうれしいことです。拠点数が多く、情報共有に困っている企業には最適かつ必要な商品ですね。

常務取締役



安藤 和正 様

システム部課長



山口 和彦 様

システム部主事



神吉 隼人 様

製品に関する最新の情報やお問い合わせはホームページから

🔍 デスクネッツ ネオ

検索

<https://www.desknets.com/>

NEOJAPAN

[開発・販売元] 株式会社ネオジャパン

本社 〒220-8110 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2-1
横浜ランドマークタワー10階

大阪営業所 〒530-6107 大阪府大阪市北区中之島三丁目3-23
中之島ダイビル7階

名古屋営業所 〒450-6321 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1-1
JPタワー名古屋21階

TEL:045-640-5910(本社) 06-4560-5900(大阪営業所)
052-856-3310(名古屋営業所)

E-mail:neo@desknets.com

※ 記載されている各社の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている内容については予告なしに変更することがあります。

※ 記事内容、記載データ等は、すべて取材時のものです。